

## 平成26年度 滋賀県がん診療連携協議会・第1回診療支援部会 議事概要

- 日時** 平成26年6月25日(水) 18時00分～19時30分
- 場所** 滋賀医科大学医学部附属病院 D病棟1階 多目的室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院(部会長:安藤消化器内科診療科長)、滋賀県立成人病センター(副部会長:川上副院長、嶋田主査)、公立甲賀病院(井田顧問)、市立長浜病院(伏木放射線科責任部長)、大津市民病院(青木副院長)、草津総合病院(中洲脳腫瘍治療科部長)、済生会滋賀県病院(重松消化器内科 副院長)、長浜赤十字病院(駒井消化器内科部長)、滋賀県歯科医師会(松井公衆衛生部会副部長)、滋賀県薬剤師会(中嶋介護福祉委員会委員(代理:大西))、滋賀県放射線技師会(山田理事)、滋賀県病院薬剤師会(寺田会長)、滋賀県歯科衛生士会(山本監事)、滋賀県健康医療福祉部(鈴木健康医療課がん・疾病対策室主席参事、奥井がん・疾病対策室副主幹)
- 【部会事務局】** 滋賀医科大学医療サービス課(小林課長、浅井課長補佐)
- 欠席者** 大津赤十字病院(副部会長:土井副院長)、彦根市立病院(来住診療局主任部長)、近江八幡市立総合医療センター(石川消化器内科部長)、東近江総合医療センター(来見副院長)、滋賀県医師会(中野草津栗東医師会副会長)、滋賀県看護協会(三上専務理事)、滋賀県放射線治療連絡協議会(芥田会長)、
- 【準部会員】** 滋賀医科大学医学部附属病院(醍醐腫瘍センター長)

議事に先立ち、部会長を含む6名が交替により新部会員として参加いただいたことの報告があり、各人から挨拶があった。なお、前副部会長の鈴木成人病センター副院長は、滋賀県健康医療福祉部健康医療課 がん・疾病対策室 主席参事として参加いただくことになった。

### 1. 議題

#### (1)平成26年度の取組内容について

##### 1) アクションプランの確認について

企画運営委員会に提出するために決定していただいた滋賀県がん診療連携協議会診療支援部会アクションプランシートの内容を再確認した。

##### 2) 各病院の専門性を生かした分担のための機能調査

前年度から各病院の医療機能分担の調査方法について検討してきたが、今年度も引き続き、診療の強み、専門性を生かした機能分担を行うために、県民に対してどのような情報を発信していくのか、がん対策推進計画に基づいて検討を進める。

鈴木前副部会長から診療支援部会の担当事項、機能調査についての検討、強みの拾い上げ、現況報告項目による情報提供の検討に至る経緯について次の説明があった。

現在、第2期のがん対策推進基本計画の下で活動している

第1期では均てん化を進めてきたが、第2期では限られた医療資源、病院の専門化した治療ができる、そういうところを手厚くしようという段階と考える。均てん化を推進かつ医療資源を考えると、診療の集中、分担が必要であり、この部会の宿題として滋賀県には強みに関して広報することを言っている。前部会長の下で、そういうことを調査するには、まず各医療機関の強みを拾い上げていこうとされているところである。診療支援というのは診療する側が受けるものであるが、される側にも情報を届けようということで、機能情報をホームページにあげていくことにしている。

各病院間で足りないところを補完していくにはどうしたらよいかということ議論していくことが診療支援部会の担当事項の1つではあるが、経営母体も異なるし、なかなか難しい。

企画運営委員会で各部会の取り組みについて議論している中で、診療支援部会への人の支援については困難であるので、部会の担当事項を考え直す必要が出てきている。しかしながら選択と集中は避けて通れないことであるので各病院の特徴を生かした強みを拾い上げ広報しようとしているところである。(前副部会長)

現況報告は、各病院の答え方の水準が同じではないことがあるけれども、各項目を横並びにできれば、わかりやすい病院間の比較ができる資料になるのは違いないと思う。(市立長浜病院)

議論の結果、昨年度の決定事項でもあるので、現況報告各項目の選択表を皆様にお送りして、項目を選んでいただき取りまとめることとした。

## (2)各病院のがん医療への取り組み(特色あるがん医療)について

各医療機関のホームページのがん医療のトップに特色ある医療の取り組みを載せていただき、本協議会ホームページの高度医療のページからリンクを貼らせていただくよう準備を進める。また、5大がんに対する各拠点病院、支援病院のがん医療の取り組みのページの整備を行っていく。

## (3)がん情報サイト(仮)について

がん情報をわかりやすく県民に伝えるため、「がん情報サイト」を制作する。本件に係る委託業者の検討や選定は、協議会と滋賀県が協働で行い、診療支援部会からも検討に加わることとなった。

サーバーは滋賀県に置き、情報は各病院等からあげていただくことになる。

費用は、がん条例に基づく基金によるものとし、維持費についても当面は基金を取り崩していくこととしている。

## (4)診療支援推進の仕組みの検討等

(2)での議論も踏まえて、各病院等からの情報発信、情報提供の依頼等についても、メーリングリストを活用していくこととした。

資料の診療支援部会メーリングリスト一覧に誤りがないか確認した。

## (5)各団体の取組予定について

### (滋賀県歯科医師会)

厚生労働省・国立がん研究センター委託事業として日本歯科医師会の主導で各地の歯科医師会での取り組みに関して、滋賀県においてもDVD講習会として年間3回開催する。第1回は5月1日に開催し、39名に参加いただいた。次回は、7月31日に開催する

### (滋賀県薬剤師会)

滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップ研修会を実施する。

医療用品共有システム及び在宅医療推進のための情報サイトの普及を図る。

会員が滋賀医大や成人病センター等が開催のがん関連研修会に積極的に参画させていただく。

無菌調剤研修会を開催する

12月中に5大がんの研修を実施する。

### (滋賀県放射線技師会)

例年通り3回の研修会を行う予定をしている。

第1回「婦人科がん」、第2回「脊椎・脊髄疾患」、第3回は市民公開講座として開催する。

### (滋賀県病院薬剤師会)

前年度に引き続き各種の催しを実施し、がん薬物情報の基礎情報や最新情報を継続的に提供する。

病院薬剤師を対象にした症例検討会をさらに充実させ、病院間の相互交流とがんに携わる薬剤師の臨床能力の充実をさらに進める。

(滋賀県歯科衛生士会)

前年度と同様に各種研修会等への参加、がん診療研修会の実施、周術期口腔衛生管理について開業医での取組の促進を予定している。

(滋賀県放射線治療連絡協議会)

年2回の連絡協議会及び勉強会の開催を予定している。

県内で開催されるがん診療に関する講演会等の協賛、後援を随時行っていく。

## (6) PDCAサイクルの指標について

平成25年度から部会ごとに作成、活用しているアクションプランシートは今後も活用していくこととされているが、数値化できるPDCAサイクルの評価指標を1つ以上使用することとされ、9月開催予定の企画運営委員会に報告することになっている。

協議会事務局から次の説明があった。

協議会としては、各部会において数値化できる目標をせめて1つだけでも考えていただきたい。本部会への提案として、ホームページを充実させていくこととしているので、一般の方がホームページを見て、わかりやすい、理解しやすい等の評価をしていただくよう、5段階程度のアンケート欄を設けて数値化してはどうか。

ただ、新ホームページの立ち上げは1月頃なので、26年度は項目を決めるところまでとし、集計が出るのは27年度になる。

部会員から、新ホームページの所掌はどの部会になるのかとの質問があり、見やすいホームページにして各病院の強みを出していこうとしている流れから、この部会にしてよいと思うとの回答があった。

議論の結果、本部会としては新ホームページを充実させていくために、サイトからアンケートによる評価ができる仕組みを作りその評価項目を数値化したものを指標にすることとした。評価項目については、今年度中に検討することとした。

## (7) その他

次回、第2回の開催日程については、9月または10月の企画運営委員会の前に調整させていただくこととした。

### ○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要（平成25年度 第3回診療支援部会 3月17日開催分）

(資料1) アクションプランシート（平成26年度取組予定）

(資料2) 現況報告の選択項目について

(資料3) 特色あるがん医療の取組に関するホームページの整備

(資料4) 診療支援部会メーリングリスト一覧

(資料5) 各団体の取組予定について

(資料6) PDCAサイクルの評価資料